

市長と話そう!

新たな形の対話始まる



市役所本庁舎では、参画まにわの会員25人が出席しました。そのうちの8人が代表して、今回のために会員に対して実施していたアンケートのまとめを発表し、会員がどのようなことを考えているのか、老後の不安や生きがいづくり、女性の社会参加についてなど、意見交換をしました。

真庭高校落合校地では、まち・ひと・しごと創生市民会議に参加している生徒など8人が出席しました。高齢化する地域をどうすればよいか、バイオマス発電の展望はどうかなど、自分たちが考えるまちづくりについて。また、市長の高校時代はどうだったのかなど、さまざまな視点で意見交換をしました。



■申し込み・問い合わせ先 総合政策部総合政策課 TEL7-42-1169

市民と市長が意見交換を行う「市長と話そう!」が、7月22日に開かれ、参画まにわの会員と真庭高校落合校地の生徒がそれぞれ意見交換を行いました。「市長と話そう!」は、市民と市役所の新たな関係づくりを進めるための取り組みで、市内に本拠地を置き市内で活動をする団体などと市長が意見交換を行うものです。市長との意見交換を希望する場合は、総合政策課にご連絡ください。

旭川清流シンポジウム 身近な旭川について学ぶ

6月28日、旭川清流シンポジウムが勝山文化センターで開かれ、約200人が参加しました。旭川との関わりを考え、上・下流域の連携を深める事を目的に開催されており今回で2回目。林業の國六新庄事業所の黒田眞路所長が基調講演。パネルディスカッションでは「旭川と私たちの暮らし」をテーマに、識者や地域住民、県の関係者ら6人が意見交換を行いました。参加者は身近な旭川について真剣に学んでいました。



北房振興局職員と意見交換する参加者



基調講演を行う黒田所長

北房異業種交流会 業種を越えた連携図ろう

6月26日に北房振興局で異業種交流会が開かれました。北房地域で働くさまざまな職種の人が集まり情報を共有することで、互いに連携して新しい商品やサービスを開発し、雇用を生み出すことを目的に、今回初めて企画されました。交流会には飲食業や製造業、農業などを営む事業所から25人が参加。北房のお土産を作りたい、商品開発まで本当にできるのかといった意見や質問が活発に出されていました。



市政に関する動きの一部を紹介します

6/24 目が見えない人の気持ちになって

福祉体験教室が檜呂小学校で行われました。講師は社会福祉協議会職員。生徒たちは目隠しをして筆箱の中にある赤ペンを探したり、二人一組となって、一人が介添えしながら校舎内を一周する体験をしました。



6/29 人目の協力隊員に姜さん

地域おこし協力隊の委嘱式が市役所本庁舎で行われ、韓国出身の姜^{カン}侖秀さんに委嘱状が手渡されました。姜さんは、英国で芸術家団体の立ち上げや、千葉県市原市で廃校舎と公民館の活用などに尽力されていました。



市長室から こんにちは!

映画「見えないから見えたもの」と8月

7月4日、久世エスパスで映画「見えないから見えたもの」を鑑賞しました。岡山盲学校の教員であった竹内昌彦先生の半生を描いた作品です。構想から5年の歳月を掛けたこの映画の内容には感銘を受けました。また、山陽新聞の越宗孝昌会長が仲人役で画面にアップされた瞬間は、わが目を疑いました。多くの方々の参加によってこの映画が出来上がっていることを知り、感動しました。

目が見えないから、すべての感覚、頭脳が研ぎ澄まされていく…。血のにじむ努力の産物でしょうが、命の尊さ、人間の素晴らしさ、可能性を確信しました。生きることに悩んでいる人！どうか映画を観て、勇気を持って生き抜くことを決意してほしい。真庭の子どもたち！みんな観てください。

竹内先生が失明した遠因である戦争終結から70年目のこの8月。市民の皆さんと平和の重みと戦争の愚かさを考える時にしたいです。



前原館長の話に熱心に耳を傾ける参加者

社地区の歴史講座が7月4日、社コミュニティハウスで開かれました。「中世式内八社の歴史をつなぐ事業」と銘打った地域振興事業の一環で、地区住民ら約30人が参加。蒜山郷土博物館の前原茂雄館長が、八社が集まる神集場（かんなつば）の隣にある大御堂（おみどう）などについて話をしました。この事業がきっかけで立ち上がった社地域振興協議会では、文化財の調査や地域資源の活用などに取り組んでいきます。

中世式内八社の歴史をつなぐ事業 地域の歴史もつと生かそう



塩津さんに塗り方を教えてもらう児童たち

草加部小学校児童が7月16日、郷原漆器の館を訪れ漆塗り体験をしました。市の文化振興事業の一環で初めて企画したもので、5、6年生17人が参加しました。高月国光館長が郷原漆器について説明し、木地作りを実演。続いて、漆芸家の塩津容子さん（総社市）の指導で、木のスプレーンと箸への漆塗りに挑戦しました。思い思いの絵柄を塗った児童の作品は、9月に勝山文化往来館ひしおで行われる備中漆展に出品予定。

草加部小学校の漆体験学習 初めての漆塗りに挑戦